第1章 還元算

Q1

次の1から20の■の値を求めなさい。

- 1 2 3 4 5 6
- $\blacksquare + 5 = 60$
- $2 5 + \blacksquare = 60$
 - $\blacksquare \times 5 = 60 \blacksquare =$
- - 5×■ = 60 ■=
- $5 \qquad \blacksquare -5 = 60$
 - ■÷5 = 60 ■=
- 7
 60-■
 = 5
 - **■**=
- 8 60÷■ = 5
- $9 \quad (\blacksquare -1) \div 5 = 4$
- \blacksquare
- $\boxed{10} \quad (\blacksquare -2) \div 5 = 4$
- \blacksquare =
- | 11 | ■÷5=4余り2
- 12 (■-1)÷5=4 余り 2
- 13 (**■**-1)÷5=4
- $\blacksquare =$
- 14 ■×5=15
- \blacksquare =
- $15 (\blacksquare + 1) \times 5 = 40$
- **=**=
- $16 (\blacksquare -1) \times 5 = 40$
- \blacksquare
- $17 \quad \blacksquare \times 5 1 = 14$
- \blacksquare
- 18 $(\blacksquare + 1) \times 5 = 15$
- $\blacksquare =$
- 19 $(\blacksquare + 1) \times 5 1 = 14$
- =
- $20 (\blacksquare -1) \times 5 1 = 14 \blacksquare$

Q2 以下の問題のある数を求めなさい。

- ① ある数を5でわったら商が4でした。
- ② ある数から1を引き その差を5でわったら、商が4でした。
- ③ ある数から2を引き、 その数を5でわったら、商が4でした。
- ④ ある数を5でわったら商が4で、余りが2でした。
- ⑤ ある数から1を引き その差を5でわったら 商が4で余りが2でした。
- ⑥ ある数に5を掛けたら 積が15でした。
- ⑦ ある数に1を加え、その和に5をかけたら積が15でした。
- ⑧ ある数から1を引き その差に5をかけたら 積が15でいた。
- ⑨ ある数に5をかけその積から1を引いたら14でした。
- ① ある数に1を加え、その和に5をかけ その積から1を引いたら14でした。
- ① ある数から1を引き その差に5をかけ その積から1を引いたら14でした。
- 図 ある数を 15 でわったら商が 4 で、余りが 2 でした。
- ③ ある数から1を引き その差を15でわったら 商が4で、余りが2でした。

第2章 消去算

この章の問題では一々

「エンピツと消しゴムの値段を求めよ」 とは書いていませんが、求めてください。 値段は全て同じですから 課題は、値段でなく、その求め方です。

Q1

エンピツ1本と消しゴム2個で200円エンピツ1本と消しゴム3個で270円

Q2

エンピツ1本と消しゴム3個で310円エンピツ1本と消しゴム5個で470円

Q3

エンピツ2本と消しゴム3個で280円エンピツ2本と消しゴム5個で400円

Q4

エンピツ1本と消しゴム1個で110円エンピツ2本と消しゴム3個で290円

Q5

エンピツ1本と消しゴム1個で160円エンピツ2本と消しゴム4個で520円

Q6

エンピツ2本と消しゴム3個で400円エンピツ3本と消しゴム2個で350円

Q7

エンピツ2本と消しゴム3個で350円エンピツ5本と消しゴム2個で600円

Q8

エンピツは消しゴムより 30 円高い。 エンピツ1本と消しゴム1個で130円

Q9

エンピツは消しゴムより 40 円高い。 エンピツ1本と消しゴム3個で420円。

Q10

エンピツは消しゴムより 30 円高い。 エンピツ2本と消しゴム3個で310円。

Q11

エンピツは消しゴムより 10 円安い。 エンピツ2本と消しゴム3個で280円。

Q12

エンピツは消しゴムより 20 円高い。 エンピツ3本と消しゴム5個で380円。

Q13

エンピツは消しゴムより 20 円高い。 エンピツ3本と消しゴム5個で340円。

第3章 場合の数

第1節 順列

Q1

数字の5があります。 これの並べ方は何通りですか。

Q2

1202枚の数字カードがあります。 このカードを並べて2ケタの整数を作る と何通りの整数ができますか。

Q3

1]と2]と3]の3枚の数字カードがあります。 このカードを並べて3ケタの整数を作る と何通りできますか。

$\mathbf{Q}4$

1, 2, 3, 40

4枚の数字のカードがあります。 このカードを並べて 4 ケタの整数を作る と何通りできますか。

Q5

1, 2, 3, 4, 50

5枚の数字カードがあります。

このカードを並べて 5 ケタの整数を作ると何通りできますか。

第2節 組み合わせ いずれも、異なるもの、とします。

Q6

3つのものから1つを選ぶ組合せは ()通りあります。

Q7

A、B、Cの3人が2人ずつ 掃除当番をします。 何通りの組み合わせがあるか。

Q8

3つのものから1つを選ぶ組合せの数と 3つのものから2つを選ぶ組合せの数を くらべなさい。

Q9

4つのものから2つを選ぶ組合せは () 通りあります。

Q10

5つのものから2つを選ぶ組合せは () 通りあります。

Q11

5つのものから3つを選ぶ組合せは () 通りあります。

Q12

5 つのものから 2 つを選ぶ組合せの数と 5 つのものから 3 つを選ぶ組合せの数を くらべなさい。

第3節 並べ方と組み合わせの複合

Q13

1、2、3の3枚のカードを使って 2ケタの整数を作ると 何通りの数ができますか。

Q14

1、2、3、4の4枚のカードを使って2ケタの整数を作ると何通りの数ができますか。

Q15

1、2、3、4の4枚のカードを使って3ケタの整数を作ると何通りの数ができますか。

Q16

1、2、3、4、5の5枚のカードを使って2ケタの整数を作ると何通りの数ができますか。

Q17

1、2、3、4、5の5枚のカードを使って3ケタの整数を作ると何通りの数ができますか。

Q18

1、2、3、4、5の5枚のカードを使って 4ケタの整数を作ると 何通りの数ができますか。

Q19

1、2、3の3つの数を使って 2ケタの整数を作ると 何通りの数ができますか。

Q20

1、2、3の3つの数を使って 2ケタの整数を作ると 何通りの数ができますか。

Q21

1、2、3、4の4つの数を使って 2ケタの整数を作ると何通りできますか。

Q22

1、2、3、4の4つの数を使って 3ケタの整数を作ると何通りできますか。

Q23

大と小、

2 つのサイコロの数の目について 次の問いに答えなさい。

- 1 大と小2つのサイコロを同時にふって 大のサイコロの目が1のとき 小のサイコロの目との組み合わせは 何通りありますか。
- ② 大と小、2つのサイコロを 同時にふった時の組み合わせは 何通りありますか。
- ③ 大と小、2つのサイコロを 同時にふった時の出た目の数の和が 偶数になるのは何通りですか。
- ① 大と小、2つのサイコロを 同時にふったとき 出た目の積が偶数になるのは 何通りですか。

第4章 新ルールの演算

第1節 自由なルールで演算 以下の問題では、それぞれ ここだけのルールとしてのルールです。 その約束に従って計算しなさい。

Q1

$$[6 \blacksquare 5] = 6 \times 5 - 1$$

- ① 【 10**■**8 】
- ② 【 20**■**10 】

Q2

$$[A \star B] = A \times B \div 2$$

- (1) 【 12★15 】
- ② 【 15**■**24 】

Q3

$$[A \star B] = A \times 2 \div B$$
:

- ① [12★4]
- ② 【 36■9 】

Q4

$$\{ \star C \} = 180 - 360 \div C$$
:

- ① **(** ★5)
- ② **【** ★6 】
- ③ 【★8】

Q5

$$\left[\bigstar C \right] = (180 - 360 \div C) \times C$$
:

- ① 【 ★4 】
- ② **【**★6】
- ③ 【★8】
- ④ 【★9】

Q6

$$[\bigstar C] = C \times (C-3) \div 2$$
:

- ① **(** ★3)
- ② 【 ★4 】
- ③ 【 ★5 】
- **④ 【★**6 】
- ⑤ 【★8】

Q7

- $[2] = 2 \times 1$
- $[3] = 3 \times 2 \times 1$
- $[4] = 4 \times 3 \times 2 \times 1$
- ① $(3) \div (2)$
- $2 (5) \div (3)$
- $3 (6) \div (2)$
- (4) $(7) \div (5)$
- (5) $(7) \div (4)$
- $6 (8) \div (4)$

F-b-5 応用問題の解き方 第5編 数学的に

混合問題(1)

Q1

A君が起きていた時間は 眠っていた時間よりも 4時間50分長かった。 起きていた時間は何時間何分か。

Q2

長方形の周囲が 2.4m で ヨコはタテよりも 20 cm長い。

- ① タテとヨコはそれぞれ何 m ですか.
- ② この長方形の面積は何㎡ですか。

Q3

初め、A、Bの2人が 同じ金額のお金を持っていましたが 兄が弟に350円わたしました。 今、何円の差になりましたか。

Q4

AもBも、初め 1500円ずつ持っていましたが AがBに何円かわたしたので 差が420円になりました。 AとBの持っているお金は それぞれ何円になったのでしょう。

Q

1人に6本ずつ配ると 全体で100本余り 1人に6本ずつ配ると 全体で200本不足する。 人数と本数を求めよ。 Q6

AとBは同じ数であったが AがBに80を与えたので BはAの11倍になった。 今、AとBの大きさはいくらか。

Q7

C君の持っているお金の70%と 40%の差は120万円です。C君の持っているお金は何円ですか。

Q8

1周 X m の池があります。 Aとb Bが池の周りを、同じ地点から 同一方向に進みました。 Aは秒速 9m、Bは秒速 6mです。 AがBに追いつくまでに要した時間は 3分でした。 池の周りは何mですか。

Q9

5mの長さの木を 50 cmずつに切りました。 1か所切るのに7分かかりました。 全部切り終わるのには 何分かかりましたか。

Q10

次の数列の和を求めなさい。
① 21+22+23+······+29+30
② 42+44+46+·····+58+60
③ 33+36+39+······+57+60
④ 30+35+40+·····+70+75